



～学校・家庭・地域、みんなで子どもたちを育てよう～



文責：金津 唯可  
(地域学校コーディネーター)

## ～コミュニティ・スクール 1年目を終えて～

「学校・家庭・地域みんなで地域の子どもたちを育てよう」という取り組みである「コミュニティ・スクール(以下CS)」が二中校区で始めて1年が経ちました。

CSは、地域の方と一緒に子どもたちと共に活動したり、子どもたちのために活動したりすること。その活動は、子どもたちが大人から教えていただいたり、活動を通して自ら気づき学んだりしていくこと。さらに大人も子どもから喜びや元気をもったり、気づきがあったりと、双方向の関係作りを目指しています。

この度、児童・生徒、教職員、保護者、地域関係者を対象に、CSに関するアンケートを実施しました。その結果から児童・生徒や保護者のCSに対する理解度が低いことがわかりました。又、アンケートを実施していない多くの地域の方にも浸透していないのが現状です。まず、知ってもらうこと、そして理解し参加してもらうためにはどう取り組んでいくか大きな課題です。

一方、嬉しいこともわかりました。多くの児童・生徒は地域の活動に参加したことがあり、学習や校内外の活動に地域の方が一緒に活動することは楽しいと答えています。さらに地域のために自分ができることは協力したいとも答えています。

この児童・生徒の思いを大切に、児童・生徒と一緒に考えていくことも必要だと感じました。

### ～子どもの居場所づくりから

#### つながりの場へ～

余子小学校児童の放課後の居場所づくりとしてスタートしたのが、余子公民館での「放課後子どもタイム」です。公民館職員さんと地域の方の協力により昨年12月の毎週水曜日放課後に実施されました。今年に入ってからコロナ感染拡大により休止中です。

「放課後子どもタイム」は事前に登録をしている児童が、学校から直接公民館に移動し午後5時まで過ごします。職員さんや地域の方も一緒に過ごして下さるので、子どもたちは安全に楽しめ、そして大人との交流もできます。

さらにお迎えに来た保護者さんの「5時までいさせてもらえて助かります」の言葉に「乳幼児のいる家庭の支援にもなっている」とみなさんが気づかれました。

地域の方に関わっていただくことで、単なる子どもの居場所づくりではなく、地域のつながりや支え合いの場になっていました。さらに協力者が増え、つながり、支え合いの輪が広がっていくといいですね。



### ～学校ボランティアさん～

学校では、たくさんのボランティアさんに支えられて子どもたちは学習に取り組んでいます。その中で、学習ボランティアとして中浜小学校でお世話になっている足立恵一さんにお話を聞きました。

足立さんは3年生の総合「人とかがわる力をつけよう～野菜名人さんからおそわる～」で野菜作りを指導いただきながら、子どもたちと一緒に作業してくださっています。「前の前の校長先生の時からだから何年になるかなあ」と本当に長年お世話になっていることにびっくりしました。そして「元気な子どもは自分から関わってくるから、できるだけおとなしい子どもに声をかけるようにしている。通学路横にある自分の畑で仕事をしていると、足立さん、と子どもたちが声をかけてくれるのが何より嬉しい」と子どもたちとの関わりを大切にしてくださっていることを嬉しく思いました。

こんなふうにして、子どもたちとボランティアさんのつながりが深まっています。

